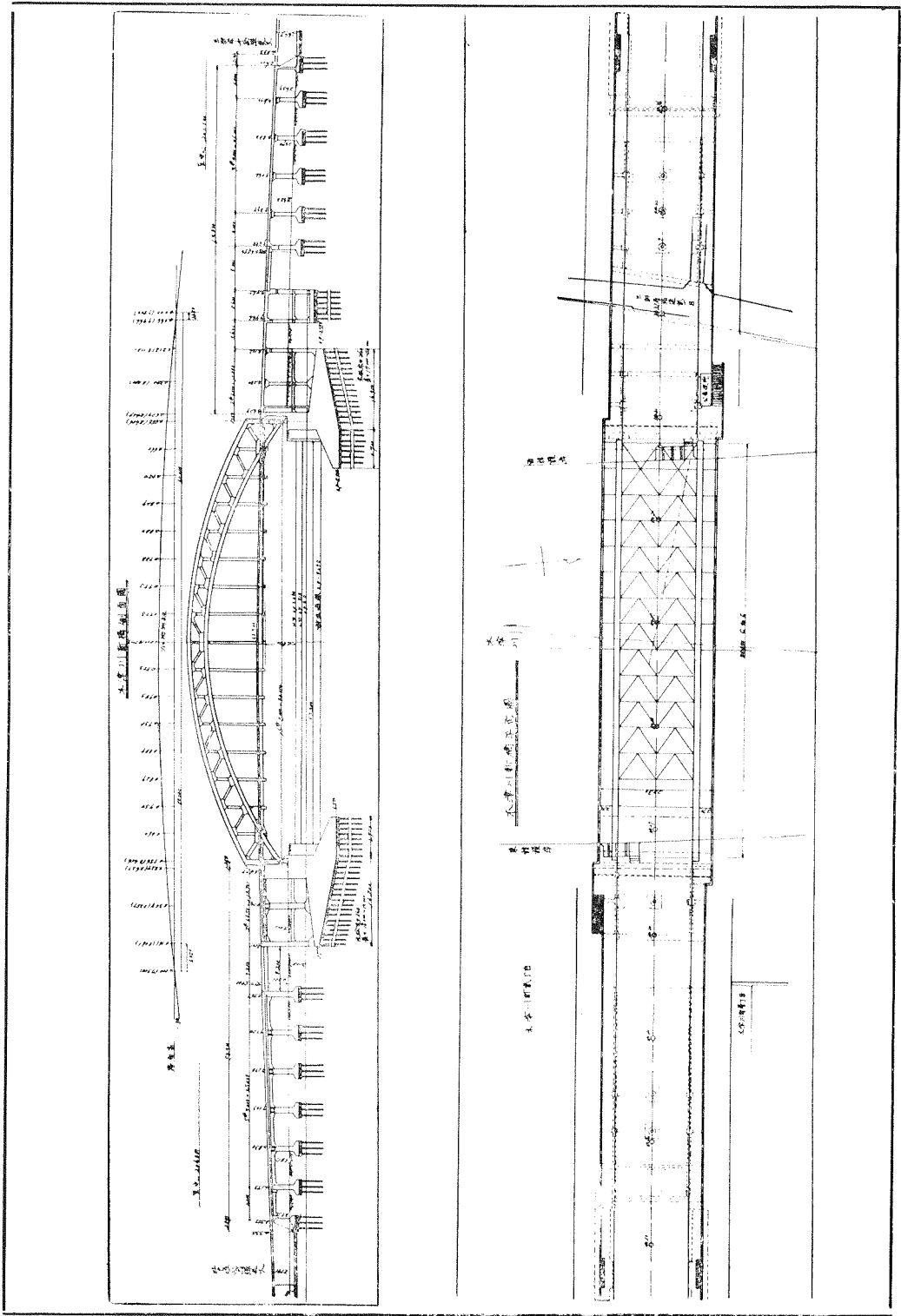
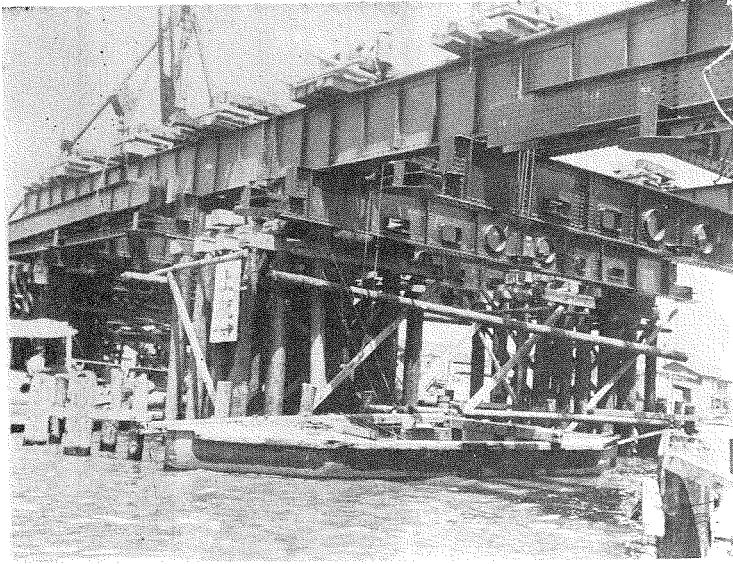


(1) 橋梁架設前に於ける状態にして、渡船により1日約5,000人を渡せり。

木 津 川 新 橋 架 設 工 事

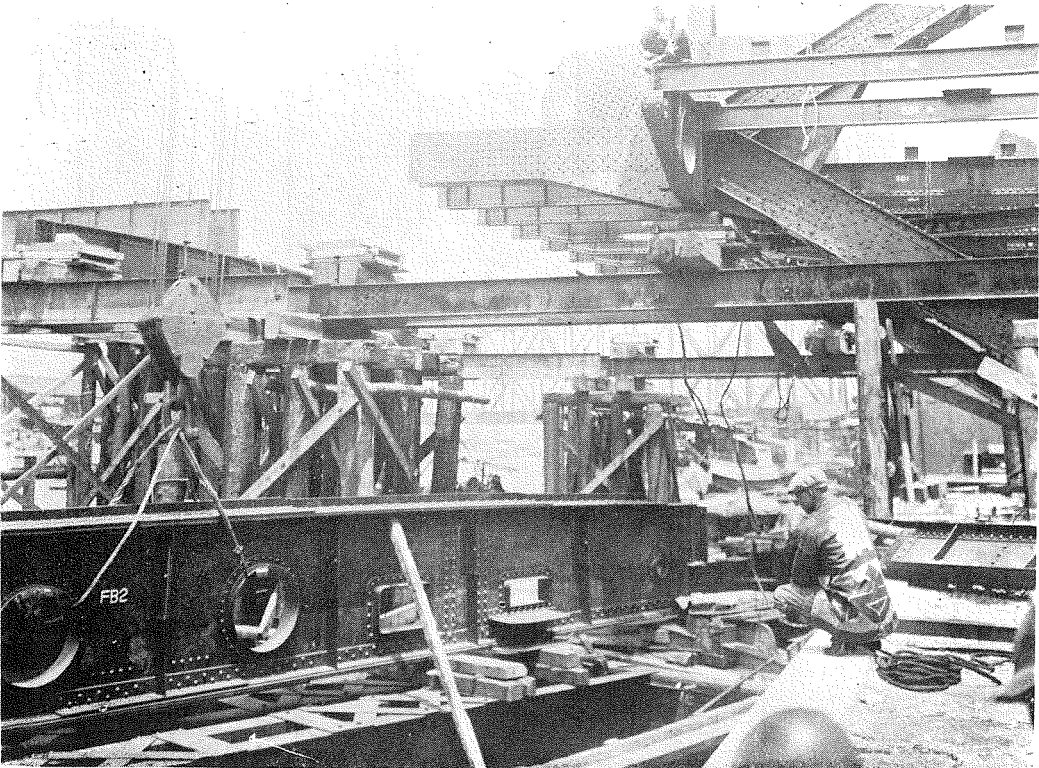
- 位 置** 大阪市木津川大正橋下流約300米の位置に架設
大正區と浪速區とを結ぶ
- 構 造** タイドアーチ（下路鋼繫拱）
幅員19.6米 支間長 80米
鋼材總重量 1,350噸
取付道路は鐵筋コンクリート造高架道路
- 總工費** 取付道路共 840,000圓
- 着 手** 昭和9年9月
- 竣 功** 昭和11年末の豫定
- 附 記** 本橋は第二次都市計畫事業として架設するもの
にして主要工事請負土木工事は株式會社大林組
鋼材工事は汽車製造株式會社である。



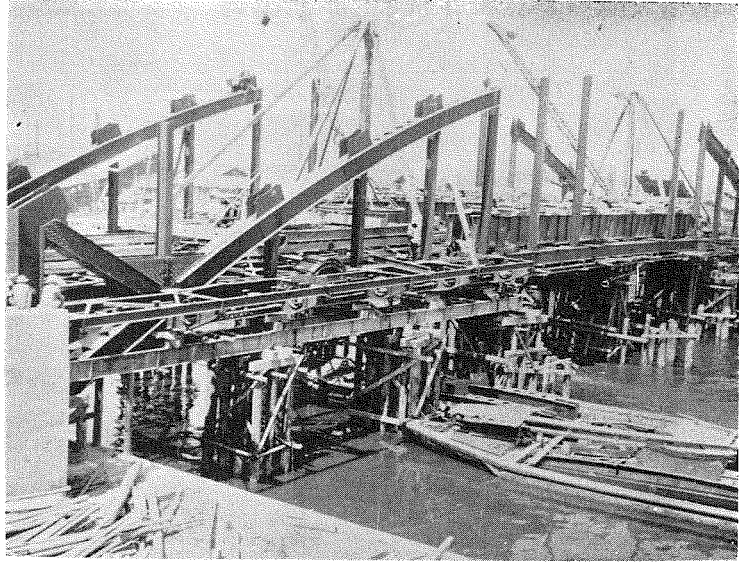


(2) 鋼材架渡其一。
端柱を 付け終り、次に横桁
を吊上げつゝあるところ。

(3) 横桁据付を終り繫材を
取付けつゝあるところ、圖中
中央の縦桁は組立用の假桁にし
て之より横桁を吊れり。



(4) 床組を終り主桁を架設中の状況。



(5) 桁の架設殆んど終了し、最後に上弦を組了らんとする瞬間。

